

部局名

農学部 海洋生物環境学科

担当:林 雅弘

テーマ

海の恵みを暮らしに生かすマリンバイオサイエンス



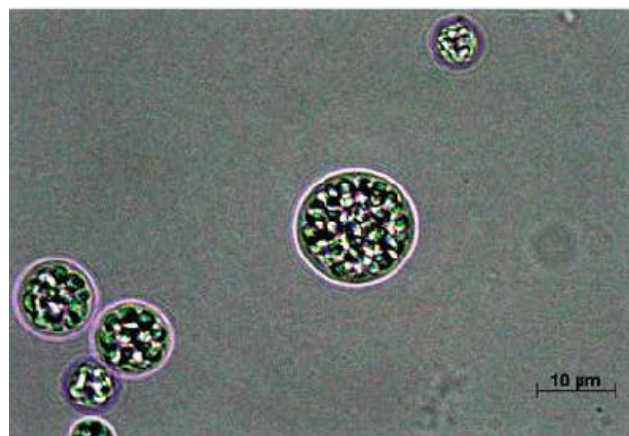
我々は「海の恵みを暮らしに生かす」をキャッチフレーズに、天然海から新しい有用な微生物を探索してきて、医薬やサプリメント、水産飼料、バイオ燃料やバイオプラスチックなど、様々な形での産業利用を研究しています。

海には細胞内に多量の油を貯める「ラビリンチュラ」と呼ばれる海洋微生物がいます。特にその油は食品や医薬、バイオ燃料への応用が期待されており、ラビリンチュラの油でジェット機が飛ぶ日も遠くはありません。



詳細内容はQRコードから確認できます

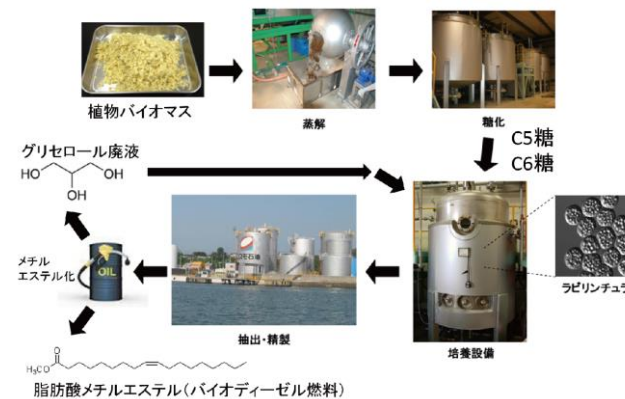
のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fishery/-dna.html>



海洋微生物ラビリンチュラの細胞細胞内に油が油滴として蓄積しているのが見えます。



海は新奇生物の宝庫です。探索のために潜水作業も行います。



植物性バイオマスを原料にしてラビリンチュラを培養すれば、バイオ燃料が生産できます。